

# 分野別まちづくり方針の基本的な考え方

# 参考資料 2

分野	キーワード	基本的考え方
生活・住宅 まちづくり 方針	魅力	<b>●地域特性を活かした質の高い住宅・住環境の創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性を活かしつつ、景観に配慮し、防災に対応した<b>質の高い住宅の供給、住環境の形成</b>を図る。</li> <li>商業・業務地、近隣商業地、複合市街地、住宅地など<b>地域特性に応じた住環境を形成</b>する。</li> <li>地域特性・交通利便性を活かした利便性の高い居住機能を誘導し、生活利便性の向上を図る。</li> </ul>
	活力	<b>●居住と産業が調和した住環境の創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>台東区の歴史・伝統、情緒等を活かし、居住機能と産業機能の共存等、<b>各種機能が調和した個性ある住環境の形成</b>を進める。</li> </ul>
	多様性	<b>●だれもが健康に暮らし続けられる住環境の形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩いて暮らせる環境、スポーツに親しめる環境を創出し、<b>だれもが健康に暮らせるまちづくり</b>を進める。</li> <li>医療・福祉等、<b>健康に欠かせない施設への安全・快適な空間・経路の整備</b>を進める。</li> </ul> <b>●多様な人の定住を促進する住宅・住環境の誘導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>多様な人が生活し、住み続けられる</b>ように、安心・快適な住まいの誘導・供給、住環境の形成を進める。</li> <li><b>高齢者や障害者などが安心して住み続けられる</b>よう定住を支援するとともに、住宅・住環境の整備を推進する。</li> <li>まちの活力を維持していくため、<b>子育て世帯の定住を促す質の高い住環境を誘導</b>するとともに、生活利便性の向上を図る。</li> </ul> <b>●空き家・既存建物などストックの活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の住宅ストックを有効活用し、空き家の活用による中古住宅ストック流通促進を図る。</li> </ul>
	快適性	<b>●人と環境にやさしい住まいづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築物の省エネルギー化、エネルギーの面的利用などにより、まち全体における低炭素まちづくりを推進する。</li> <li>敷地単位でのみどりの増進を図り、まちなかに<b>みどりが溢れる潤いある住環境を形成</b>する。</li> </ul>
	安全性	<b>●地域の生活の拠点となるコミュニティの場づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>コミュニティの場づくり</b>により、災害・犯罪に備えた地域力の向上を推進する。</li> </ul>
	利便性	<b>●生活利便性の高い住環境の形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性に応じた<b>生活に必要な機能を誘導</b>するとともに、<b>誰もが利用可能な移動動線を確保</b>する。</li> </ul> <b>●地域特性・充実した交通網を活かした利便性の高い居住機能の誘導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性・充実した交通網を活かした利便性の高い居住機能を誘導し、生活利便性の向上を図る。</li> </ul>
文化・産業・ 観光 まちづくり 方針	魅力	<b>●歴史・芸術・文化資源を活かした観光と産業振興</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>台東区の個性となっている歴史的資源や世界文化遺産などの、<b>世界に誇る文化・歴史資源を活かしたまちづくり</b>を進める。</li> <li>台東区のブランド価値の向上、観光や伝統的産業の振興を図るとともに、居住地としての魅力を向上させる。</li> <li>台東区の魅力である文化・産業・観光資源を、ハード・ソフト両面から活用したまちづくりを進める。</li> </ul>
	活力	<b>●新たな産業や起業を支える場づくりによるまちの活力向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>台東区の伝統的産業の特色ある集積や、比較的低い賃料、秋葉原などの先端的</li> </ul>

分野	キーワード	基本的考え方
		な産業・技術の集積地との隣接した立地特性等を活かしたまちづくりを進める。 <b>●若い人や起業家の新たな試みにチャレンジできる環境</b> を、既存の資源を活かしながら、新たな産業や起業家の育成を図り、活力の維持・創出を図る。 <b>●産業振興施策と連携した機能誘導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興施策と連携したまちづくりを進めるため、台東区のまちを形成してきた職と住が共存した街や基盤を活かし、新たな産業や職住のライフスタイルの変化に対応した機能誘導を図る。</li> </ul> <b>●拠点的商业・業務の強化と魅力ある商店街づくりの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>台東区らしい賑わいの強化と広がりをめざし、アメ横、浅草等の<b>拠点的商业集積の充実と周辺のまちとの連携</b>や、<b>回遊性と賑わいを生み出す連続する歩行者空間</b>等の整備を図る。</li> <li>地域特性を活かし、生活の利便性や地域の魅力を高める商業の集積と、まちかど広場など交流スペース確保、既存の資源を活用したリノベーションまちづくりを進める。</li> </ul> <b>●観光の持続的発展に資するまちづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光の持続的発展とまちの魅力や生活環境の向上を合わせたまちづくりを進める。</li> </ul>
	多様性	<b>●住・商・工の様々な生活スタイルが展開できる住みやすく働きやすい環境整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>居住と産業・観光の調和と共存</b>を図り、住む人と働く人の双方にとって居心地のよい環境を整備する。</li> </ul>
	快適性	<b>●おもてなし環境整備及び受け入れ態勢の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>観光客の周遊や滞在に係る機能の充実</b>を図り、魅力の高い観光地を維持し、国際観光地としてさらなる発展をめざす。</li> </ul>
花とみどり・ 環境 まちづくり 方針	魅力	<b>●水とみどりの拠点とまちなかの一体性・連続性の確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>風格ある水とみどりの拠点を形成</b>し、まちなかの一体化を図るとともに、幹線道路におけるみどり軸の形成を進める。</li> <li>歴史的・文化的な花やみどりを保全し、<b>イベントや地域コミュニティ形成の場としての活用を検討</b>する。</li> </ul> <b>●親水性の高い水辺空間の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>隅田川、神田川、不忍池をうるおいとやすらぎの空間として整備し、規制緩和を用いて<b>水辺空間の活性化</b>を図るなど、まちづくりに活用する。</li> </ul>
	多様性	<b>●地域特性に応じた多様な活動・利用が可能となる公園等の運用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある公園整備を推進し、<b>区民に憩いとやすらぎを与える花とみどりの空間を創出</b>する。</li> <li>まちなかに点在する寺社等の花やみどりの保全を図るとともに、区民が主体となって活動する緑化活動の支援等により、花やみどりの保全・創出を進める。</li> <li>水とみどりの拠点、点在する寺社等の花やみどりをつなぎ、みどりの連続性を確保し、台東区のみどりの骨格を形成する。</li> </ul>
	快適性	<b>●身近なみどりの整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な公園が不足している地域では、<b>地域の魅力を高める新たな公園整備を検討</b>する。</li> <li>建物の更新とあわせたまどりの増進を図り、潤いの広がる市街地を形成する。</li> </ul> <b>●自然的要素を活かした水とみどりの形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>台地や崖線の斜面や水辺空間における水とみどりを活用し、魅力の高い景観形成を図る。</li> </ul>

分野	キーワード	基本的考え方
		<p>●地球環境に配慮したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素交通の実現、建築物の省エネルギー化、エネルギーの面的利用などにより、<b>低炭素まちづくりを推進</b>する。</li> </ul>
	安全性	<p>●防災性能を備えた水とみどりの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園や防災船着場などの資源を活用し、防災機能を確保する。</li> </ul>
景観 まちづくり 方針	魅力	<p>●地域特性にあわせた景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風情を感じる景観の形成を進めるため、区内に存在する歴史・文化資源などの<b>多様な景観資源を積極的にまちづくりに活かす</b>とともに、<b>まちの個性や生活を表現した景観づくり</b>を進める。</li> </ul> <p>●地域の愛着、誇りをうみだす景観の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>地域への愛着、誇りがもてる美しい景観づくり</b>、祭りや地域行事等を活かした景観づくりを進める。</li> </ul> <p>●区民との協働による景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>台東区らしい景観をつくりだすため、区民と協働で良好な景観形成を進める。</li> </ul>
	活力	<p>●賑わいと活力にあふれ人を引き付ける景観形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人が住み、活動・交流する国際観光地にふさわしい、<b>風格や躍動感のある景観づくり</b>を進める。</li> <li>商店街の賑わいを連続させるとともに、回遊性向上に資する景観を形成する。</li> <li>シンボルとなる通りの景観形成を進めるとともに、道路等の景観整備とあわせて、道路景観と調和する沿道建物を誘導し、一体性、連続性のある通りの景観整備を進め、まちの特徴づけを進める。</li> </ul>
	多様性	<p>●歴史・芸術・文化資源の活用及びそれらと調和した個性ある景観の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風情を感じる景観の形成を進めるため、区内に存在する歴史・文化資源などの多様な景観資源を積極的にまちづくりに活かすとともに、まちの個性や人々の暮らし・生活を表現した景観づくりを進める。</li> </ul>
	快適性	<p>●自然的要素を活かした景観形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑地や水辺空間などの自然的要素を活用した景観形成を推進する。</li> </ul>
	防災 まちづくり 方針	魅力
	活力	<p>●災害時にもまちの活力を維持するまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務・商業・行政機能が集積するエリアにおいては、緊急時にも利用可能なエネルギーシステムの導入等による、<b>災害時にも活動できるまちの形成</b>を目指す。</li> </ul> <p>●来街者の多い地域での総合的な防災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来街者の多い地域では、災害時に帰宅困難者対策など一時滞留や避難などができる体制づくりを進める。</li> </ul>
	多様性	<p>●外国人や社会的弱者などに対する防災対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人や社会的弱者なども災害時に迅速に安全な場所に避難できるよう、多言語の防災情報提供など、<b>ユニバーサルデザインの防災対策の推進</b>を図る。</li> </ul>
	安全性	<p>●まちの総合的な防災性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災生活圏を形成による「燃え広がらないまちづくり」、沿道の建物の耐震化・</li> </ul>

分野	キーワード	基本的考え方
		<p>不燃化による「倒れないまちづくり」、木造住宅密集地の不燃化や建て替えの促進による「燃えないまちづくり」をめざし、基盤整備とともに<b>市街地の総合的な防災性の向上</b>を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害を想定した都市復興の共通認識を深め、地域住民と連携して<b>震災復興まちづくりを推進</b>する。</li> <li>隅田川では川沿いの整備とあわせてスーパー堤防事業により浸水対策を推進する。</li> <li>降雨時に雨水が下水道に流れ込む流量の減少と下水処理能力の向上を図り、まちづくりと一体となった治水対策を推進していく。</li> </ul>
道路・交通 まちづくり 方針	魅力	<p>●まちの個性を活かした交通空間整備・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土地利用と連動した<b>道路空間の活用により、街の魅力や賑わいを創出し、ひと中心のみちづくりを推進</b>する。</li> <li>道路空間における景観形成を図るとともに、シンボルとなる通りではみどりの軸としてさらなる快適性の向上を図る。</li> <li>水上交通を活用した観光誘客を図る。</li> </ul>
	活力	<p>●人々の生活や交流を支える公共交通や結節点の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ターミナル駅においては、鉄道と他の交通手段との乗換利便性を向上させ、駅周辺の総合的な交通基盤を一体的な整備を図る。</li> <li>道路の機能、沿道地域の特性や環境を考慮しながら、<b>都市活動や人びとの生活、交流を支える活用について</b>検討する。</li> </ul>
	多様性	<p>●だれもが歩いて暮らせるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康まちづくりを推進するため、高齢者にやさしく安全性、快適性に配慮した歩行者空間を形成し、沿道の風景の変化を感じながら<b>歩きたくなる歩行者ネットワークを形成</b>する。</li> <li>人々の多様な活動や地域コミュニティを支える場としての道路空間の活用を検討する。</li> </ul>
	快適性	<p>●道路空間における景観形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土地利用と連動した道路空間の活用により、街の魅力や賑わいを創出し、ひと中心のみちづくりを推進する。</li> <li>電線類地中化等により道路空間における景観形成を図るとともに、シンボルとなる通りではみどりの軸としてさらなる快適性の向上を図る。</li> </ul> <p>●環境にやさしい交通（低炭素交通）の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素交通の実現により、まち全体における低炭素まちづくりを推進する。</li> </ul>
	安全性	<p>●地域の状況に合わせた道路や歩行者空間の安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情や土地利用に応じて、<b>安全性の高い歩行者空間</b>を確保する。</li> <li>自転車の適正な利用促進等を進め、自転車による安全で快適な区内の移動を確保する。また、自転車等駐車場や自転車走行空間、タウンサイクルの利便性向上など、自転車利用環境の充実を図る。</li> </ul>
	利便性	<p>●駐車施設等の効果的な配置及び充実（車の賢い利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商業・業務施設、観光施設等、土地利用の方向にあわせた駐車場の整備、業務車両の荷さばきスペース等の確保を進める。</li> <li>観光バスの急増に対応した観光バス対策を検討・推進し、駐車需要に対応した駐車場の整備を推進する。</li> <li>生活利便性を高める地域交通の拡充を図り、<b>誰もが気軽に移動できるまちづくり</b>を進める。</li> </ul>